

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ
<http://www.fureai-support.jp/>



6・7月号

令和2年6月1日

■法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
●デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
●デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
●相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
●飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
●日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
●磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
●八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
●相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

コロナウイルス感染拡大防止のため自粛生活をしているうちにアトリエ周りの木々の緑も色濃くなりました。

皆さんが植える予定だった稲の苗も、新田の高橋さんに植えていただき、しっかりと根がはったようです。自然の恵みを受け、梅や桃もたわわに実をつけております。間もなく入梅。何があっても時は刻々と流れていきます。

令和元年度の締めくくりを年度末の3月にできず、4月に・・・5月に・・・と、延び延びになっておりましたが、展示会はできなかったものの、5月9日に作品をギャラリーに展示してお渡しすることができました。

スタッフ一同ほっといたしました。

お家に持ち帰った陶芸作品のマイカップでコーヒーを飲んだら「美味しかった・・・」という親子で楽しんでいただいている様子をメールいただき、嬉しかったです。

国の緊急事態宣言は解除されましたが、当教室はグループ学習や友達との関係性の中で大きな成果を上げている中で三密の回避は難しいとの判断から只今休室中!! 早く皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。



パネル作品



ガラス絵



ギャラリー展示風景



ごほうびの倉本信之作品 特別賞手彩色版画「仲良し」



親子の日

「親子の日」 おやこのひは、米国人写真家ブルース・オズボーンさんが主催する親子の日普及推進委員会が中心となって、2003年より提唱・普及を行なっている記念日です。

7月の第4日曜日を「親子の日」と定め、「親と子」の関係を見つめながら、家族、地域、社会の平和を願うきっかけづくりを提案しています。

33年間にわたって、親子の写真を撮り続けてきた写真家、ブルース・オズボーンさんは、多大な被害をもたらした2011年の東日本大震災直後に、いてもたってもいられない気持ちを押さえられずにカメラを持って東北各地を訪ねました。元アトリエのアシスタントリーダー・デザイナーの佐藤仁さんの紹介で、アトリエに滞在し相馬市の親子をとっていただき、癒していただきました。親子で、家族で、絆の大切さを見つめ直すよい機会になりました。多くの家族と出会い、レンズ越しに見つめた数々の親子の姿。私たちは、被害が運んできた深い悲しみに負けないで欲しいという思いを込めて、オズボーンさんが撮影した写真の数々から、忘れてはならない大切なもの、私たちに力を与えてくれるもの、そして、決して風化しない真実を、今も受け止めることができます。その時の写真集がアトリエにおいてあります。

親子の絆、人を思いやる優しさ、まっすぐ立つ強さ。
そこには、津波にも押し流されなかったものがたくさんあって
希望や、勇気など、かけがえのない大切なものが伝わってきました。
被災地で出会ったあなたに、ありがとう。(ブルース・オズボーン)



かいがぞうけいきょうしつでは…

未就学児コース

絵画教室では、未就学児コース担当ということでパワー全開の子ども達に囲まれ、毎回汗をかきながらエネルギー全開にして奮闘しています。

おやつの時に交流する、デイサービスのおじいさん、おばあさん達も、子ども達の元気な声、明るい笑顔に「お～来たな～」と、顔がほころび嬉しそうです。犬のミルキーも、喜んでかけまわります。毎週金曜日、アトリエは大にぎわい。豊かな発想で描いた子どもらしい絵と、にこにこ無邪気な姿に“ほっ”といやされ、“ほかほか”“ほっこり”子ども達は陽だまりのような存在です。とても楽しい時間が流れます。

幼少期はとってもかわいい時期ではありますがいろいろなことに好奇心を持ち、興味や関心、自分でやってみたいという気持ちが芽生えてくる大事な時期でもあります。これから芽を出して、花を咲かせるために、しっかりと土台作りをし、強い根っこをはらなければなりません。

そこで幼稚園コースでは、まず、子ども達が造形活動や体験活動に興味を持てるようなカリキュラム作り、楽しくのびのび活動ができるような雰囲気心掛けています。

上手に描いたり造ったりする技法の指導も大事ですが、その前に子ども達の話の聞いたり、声をかけたりすることに力を入れ「〇〇したい」と意欲が出るよう導きたいと思っています。「やる気」と「意欲」があれば、その効果は期待できます。何事も好きになれば長く続き、長く続けば力はつきます。

今年度は、まだスタートできない状態にありますが、お子様の大事な時間をお預かりするわけですから、「楽しい!」「毎日行きたい!」と、言ってもらえるような魅力的な教室になるよう、頑張りたいと思います。(記 友美子)

小学生コース・中学生コース

未就学児コースからの持ち上がりの皆さんが大部分なので、今までやった基礎の上に自分で描きたいものを自分のペースで進める、仲間意識も高まり、学びの空間を自分たちで作りあげていく。

合同教室・グループ学習の成果は、私たちスタッフが思っている以上に大きく、当アトリエのスローガンでもある「子ども達に大きな愛と大きな環境を・・・」提供する重要性を感じるひと時です。

同じ対象物を見て描いても答えは一つじゃない。だから活動がどんどん拡がり、違う活動も展開されていく。新たな発想が生まれ、試し、また思いつく。こんな造形活動を通して、子ども達の意欲が育まれ生きる力を身につけ、たくましくなっていく姿を見るにつけ、私たちスタッフも喜びを感じます。

中学生コースは久しぶりに開設してから3年目。以前、中・高校成コースを開講していたが、部活動の関係でしばらく休止状態でしたが、部活動の見直しで週1回水曜日が休みとなり、水曜日教室に中学生コースが再開しました。開講してほしいとの要望に応じて始まった南飯淵アトリエでの中学生のやる気は、いうまでもありません。再開をお・た・の・し・み・にね!

アシスタントリーダー・アイドル紹介

◎村上琉優さん(るいちゃん)(昌平高校1年)

◎荒しおりさん(しーちゃん)(相馬高校1年)

◎みかん(ミーちゃん)(倉本家納屋出身の猫)メス5歳

◎ミルキー(盲導犬協会出身・キャリアチェンジ犬)メス4歳

どうぞよろしく…



ちいさな美術館作りのススメ

身近な生活空間の中で、アートを楽しみませんか。

場所は家の中の小さなスペース。例えば、玄関・トイレ・台所などに子供が描いた絵を飾る。子供が庭でつんだ草花をコップにさして窓に置く。

そんなほんの小さなことが生活に潤いを、心にやすらぎと癒しを与えてくれます。

小学校のトイレ改善を手がけている日本トイレ研究所代表理事・加藤篤さんは、快適なトイレは健やかな元気な心と体を育むということを説いて全国を回っています。お金をかけなくても、ちょっとした工夫で変身……。

ちなみにアトリエのトイレには、子ども達が描いてくれた絵や工作・木製の小さな動物達・花が飾ってあります。

他にも、絵はがき・卓上カレンダー・仏像の写真・気に入った名言・小さい人形などなど。

いろいろな物が飾られ、臭い・汚いイメージも一変して、行ってみたいトイレ美術館に……トイレ文化の創出になっています。

子ども達の作品を快適なトイレ空間の創造にお役立てください。ぜひ、みなさんのお家のどこかに飾っていただき

『ちいさな美術館』を作って楽しんでください。どんな素敵な美術館になるでしょうか!

